

高齢者相互支援活動研修会

新地域支援事業研修会

標記の研修会を令和4年7月22日（金）午後一時半から、三重県総合文化センター男女共同参画センター多目的ホールで開催しました。

今年度は3年ぶりに県内市町老連から会員が参加する研修会となりましたが、新型コロナウイルス感染症の情勢により、時間短縮、人数制限を設けての開催であり、参加者は約百二十名となりました。



○高齢者相互支援活動研修会

老人クラブ会員が他の会員や地域高齢者への高齢者相互支援活動など、日頃の老人クラブ活動の事例発表を通して、意見交換を行い、老人クラブ活動を活性化することを目的としています。

次の2つの老連から

◇いなべ市老人クラブ連合会

「いなべ市老人クラブ連合会組織改革の取り組みについて」

◇紀宝町老人クラブ連合会

「紀伊半島大水害から生まれた

絆 10年の歩み」のテーマで

組織体制の改革、地域高齢者中心の防災対策などについての事例発表をしていただきました。

○新地域支援事業研修会

長引くコロナ禍の中で老人クラブ活動も中止や縮小を余儀なくされ、高齢者が外出する機会や仲間と交流する機会が大幅に減少しているなかで、高齢者のフレイルを予防し健康寿命を延ばすために、コロナ禍における老人クラブ活動の積極的な取り組みを支援することを目的に開催しました。

三重県立看護大学六角僚子教授を講師にお迎えして「コロナ禍におけるフレイル予防」のテーマで講演会を行いました。

「運動、栄養、社会参加」の重要性、自分自身を大切にしながら、地域の人とつながる・つなげる工夫などについてお話いただきました。

